

研究実施のお知らせ

2022年10月13日 ver.1.0

研究課題名

コンベックス走査式超音波気管支鏡を用いた動的評価方法による食道癌気管浸潤の評価

研究の対象となる方

2018年5月1日から2022年9月31日の期間に島根大学医学部附属病院で食道癌の術前検査として、気管支鏡検査を受けられた方。そのうち、コンベックス走査式超音波気管支鏡を用いて検査を行った方。

研究の目的・意義

気道・気管浸潤の有無によって、進行食道癌の治療法は大きく異なります。さらに気管・気管支浸潤の誤った術前診断や不完全切除は死亡率と関連することが知られています。適切な術前評価が求められます。

気道・気管浸潤の評価は、CT・MRIなどの画像検査でも評価可能ですが、それは明らかな進行症例に限られる。切除手術が可能な食道癌に関しては、食道から超音波を用いて深達度を検査する、endoscopic ultrasonography (EUS)による評価が有用とされます。しかし、EUSはファイバーが食道癌による狭窄のため通過出来ない時には利用が制限されます。そこで、気管支鏡であれば、通過障害の影響を受けることなく、検査が可能であるため気管支鏡を用いた超音波評価を島根大学呼吸器・化学療法内科では実施しています。

気管支鏡を用いた超音波評価の有用性を検討することが目的の研究となります。

研究の方法

気管支鏡を用いた超音波検査を受けられた食道癌患者さんのを対象に、画像検査（CT, MRI）、超音波検査（食道からの超音波検査、気管・気管支からの超音波検査）から、気管・気管支浸潤の有無を評価します。食道癌切除手術を受けられた患者さんからは、術後病理結果を参考に、術前検査の正解率を検査毎に比較します。その他、診療記録から患者情報(年齢、性別)、採血データ（CRP・白血球数・白血球分画・Alb・LDH・総蛋白）、食道癌情報（食道癌のStage・病変場所）、治療内容（抗がん剤治療の内容・放射線治療の内容・治療成績）、などを収集します。本研究では、氏名・IDなど個人を特定し得る情報は収集せず、患者さんはコード番号により識別されます。コード番号と氏名・IDとの対応表は島根大学医学部内科学講

座 呼吸器・化学療法内科 研究責任者 河野 謙人 により厳重に管理され、施設外に持ち出されることはありません。

研究に関するデータ及び関連資料は研究結果の最終報告を行ってから 10 年間保管し、その後研究対象者の識別が不可能な状態で廃棄(消去)します。

研究の期間

2022 年 12 月(研究許可後)～2023 年 6 月 30 日

研究組織

この研究は島根大学医学部内科学講座 呼吸器・化学療法内科が行います。

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2023 年 3 月 31 日までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者:河野 謙人
島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
電話 0853-20-2581 FAX 0853-20-2581